

だい かいしゅう どうじょう 第5回省エネ道場まとめ

かみ だいけん 紙すき体験

1 かみ 紙のリサイクル

かみ 紙のリサイクルは、つか お かみ こし しげん かいしゅう かみ げんりょう 紙のリサイクルは、使い終わった紙(古紙)を資源として回収し、紙の原料として再利用することです。国内で回収される古紙は、年間1,789万トンに上り、木材資源の節約だけでなく、紙ごみの削減という観点からも、古紙の利用は私たちに か とりくみ にとって欠かせない取組となっています。

2 にほん こしりよう 日本の古紙利用

にほん こし かいしゅうりつ がっこう しゅうだんかいしゅう ぎょうせいかいしゅう 日本の古紙回収率は、学校やマンションなどでの集団回収や行政回収の定着などにより、2000年頃以降上昇を続け、2022年には79.5%に達しています。集められた古紙は、紙・板紙製品の品質に合わせて使い分けがされています。特に、板紙や新聞用紙の分野で古紙利用が進み、2022年の紙・板紙全体の古紙利用率は66.3%となっています。

3 もり はじ かみ 森づくりから始める紙づくり

かみ しげん もくざい たいよう めぐ こうごうせい ふ さいせい 紙の資源である「木材」は、太陽の恵み(光合成)によって増やすことのできる再生可能な優れた資源です。そのため収穫したら更新するというリサイクルを循環させることにより、持続可能な森林経営を行うことができます。紙をつくる製紙産業では、「使う原料は自分でつくる」「森林資源を循環させながら持続的に利用する」といった観点から世界各国で植林活動が積極的に行われています。